

メールワイズ 5
データ移行ツール
マニュアル

商標について

- 記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。また、当社製品には他社の著作物が含まれていることがあります。

個別の商標・著作物に関する注記については、弊社のWebサイトを参照してください。

<https://cybozu.co.jp/logotypes/other-trademark/>

なお、本文および図表中では、(TM)マーク、(R)マークは明記していません。

目次

1章 データ移行ツール	4
1.1. 作業の前に確認すること	7
1.2. パッケージ版 メールワイズでの準備	29
1.3. ローカルコンピューターでの準備	34
1.4. クラウド版 メールワイズでの準備	36
1.5. データを移行する	39
1.6. データ移行後に必要な設定	56
1.7. 組織情報の統合について	60

1章 データ移行ツール

お知らせ

- Windows版データ移行ツールは、2026年4月30日（木）までに使用してください。それ以降は使用できなくなります。詳細は、[サイボウズからのお知らせ](#)を参照してください。

「cybozu.com データ移行ツール for サイボウズ メールワイズ」（以降、データ移行ツール）を使用すると、次のデータをクラウド版 メールワイズに移行できます。

- パッケージ版 メールワイズのデータ
- ローカルコンピューターに保存されているメールデータ：
Thunderbirdなどのメールソフトに保存しているメールデータです。

注意

- 一度の作業で移行できるのは、パッケージ版 メールワイズのデータ、またはローカルコンピューターに保存されているメールデータのどちらか一方です。移行するデータの種類によって、操作手順が異なります。
- すでに運用されているクラウド版のデータに、移行するデータをマージすることはできません。
- クラウド版 メールワイズのデータをパッケージ版に移行することはできません。

■ パッケージ版 メールワイズのデータを移行する場合の作業イメージ



データ移行ツール

データ移行ツールとクライアント証明書を、パッケージ版メールワイズを運用しているサーバーに保存する。



パッケージ版 メールワイズ

パッケージ版 メールワイズを運用しているサーバー上でデータ移行ツールを起動する。



データ移行ツールによって、移行するデータがまとめられる。



クラウド版 メールワイズに移行！

■ ローカルコンピューターに保存されているメールデータを移行する場合の作業イメージ



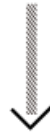
データ移行ツール

データ移行ツールとクライアント証明書を、
メールデータが保存されているローカルコンピューターに
保存する。



ローカルコンピューター

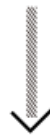
メールデータが保存されているローカルコンピューター上で
データ移行ツールを起動する。



データ移行ツールで、メールデータをメールワイズ用の
データにコンバートする。



データ移行ツールによって、移行するデータがまとめられる。



クラウド版 メールワイズに移行！

1.1. 作業の前に確認すること

お知らせ

- Windows版データ移行ツールは、2026年4月30日（木）までに使用してください。それ以降は使用できなくなります。詳細は、[サイボウズからのお知らせ](#)を参照してください。

データ移行ツールを使用する前に確認する項目を説明します。

作業の流れ

パッケージ版 メールワイズのデータを移行する場合

次のステップで作業します。

Steps:

- Step 1 [データ移行ツールの動作環境を確認します。](#)
- Step 2 [移行するデータの内容などを確認します。](#)
- Step 3 [クラウド版 メールワイズの試用を申し込みます。](#)
- Step 4 [ログイン情報、組織情報、およびメールサーバーの設定を確認します。](#)
- Step 5 [cybozu.com共通管理で、Administratorを「使用中」にします。](#)
- Step 6 [クラウド版 メールワイズのサブドメインを確認します。](#)
- Step 7 [cybozu.com共通管理で、「組織の事前設定」に予約データがないことを確認します。](#)
- Step 8 [cybozu.com共通管理で、データ移行を許可し、クライアント証明書をダウンロードします。](#)
- Step 9 [メンテナンス情報を確認します。](#)
- Step 10 [最新のデータ移行ツールをダウンロードします。](#)
- Step 11 [データ移行ツールを実行します。](#)

Step 12 [データ移行完了のメールを受信します。](#)

Step 13 [cybozu.com共通管理で、データ移行の許可設定を解除します。](#)

Step 14 [移行したデータを確認し、必要な項目を設定します。](#)

Step 1

データ移行ツールの動作環境を確認します。

詳細は、[動作環境と移行可能なデータ量\(15ページ\)](#)を参照してください。

Step 2

パッケージ版での作業 移行するデータの内容などを確認します。

詳細は、次のページを参照してください。

[パッケージ版 メールワイズの運用環境\(17ページ\)](#)

[パッケージ版 メールワイズから移行できるデータ\(18ページ\)](#)

[移行によって更新されるデータ\(21ページ\)](#)

Step 3

クラウド版 メールワイズの試用を申し込みます。

詳細は、[試用方法](#)を参照してください。

すでにクラウド版 メールワイズを試用中または購入済みの場合は、Step4に進みます。

Step 4

パッケージ版での作業 ログイン情報、組織情報、およびメールサーバーの設定を確認します。

次の設定が完了していない状態でデータ移行ツールを実行すると、エラーが表示されて処理が中断します。

移行ツールを実行する前に必ず設定を確認してください。

- すべてのユーザーにログイン名とパスワードを設定している
- ログイン方法を「ログイン名を入力する」に設定している
- 移行可能な組織名を設定している
- メールサーバーの設定で、POP before SMTPの設定を無効にしている

詳細は、次のページを参照してください。

[ログインに関する設定を確認する\(31ページ\)](#)

[POP before SMTPを無効にする\(34ページ\)](#)

あわせて、[メールサーバーにメールを残す\(33ページ\)](#)設定に変更してください。

Step
5

クラウド版での作業 cybozu.com共通管理で、Administratorを「使用中」にします。

詳細は、[Administratorを「使用中」にする\(36ページ\)](#)方法を参照してください。

Step
6

クラウド版 メールワイズのサブドメインを確認します。

詳細は、[サブドメインを確認する\(38ページ\)](#)方法を参照してください。

Step
7

クラウド版での作業 cybozu.com共通管理で、「組織の事前設定」に予約データがないことを確認します。

詳細は、[「組織の事前設定」の状態を確認する\(38ページ\)](#)方法を参照してください。

Step
8

クラウド版での作業 cybozu.com共通管理で、データ移行を許可し、クライアント証明書をダウンロードします。

詳細は、[データ移行を許可してクライアント証明書をダウンロードする\(38ページ\)](#)方法を参照してください。

Step
9

クラウド版での作業 メンテナンス情報を確認します。

cybozu.comのメンテナンス中は、データを移行できません。

データ移行中に利用停止の開始時間になった場合、データ移行は中断されます。メンテナンス後に再度、最初からデータ移行の作業が必要になります。

cybozu.comは、日本時間の毎月第2日曜日、午前1時～午前7時に、定期メンテナンスを実施します。

定期メンテナンス時のデータ移行ツールの利用停止期間は、前々日の金曜日午後6時～定期メンテナンス終了までです。金曜日が祝日の場合は、木曜日午後6時から停止します。

サイボウズからのお知らせの[メンテナンス情報](#)を参照し、データ移行がcybozu.comのメンテナンスやデータ移行ツールの利用停止期間と重ならないよう、作業日程を組んでください。

Step
10

パッケージ版での作業 最新のデータ移行ツールをダウンロードします。

詳細は、[データ移行ツールを入手する\(39ページ\)](#)方法を参照してください。

**Step
11**

パッケージ版での作業 データ移行ツールを実行します。

詳細は、[パッケージ版 メールワイズのデータを移行する\(41ページ\)](#)方法を参照してください。

**Step
12**

データ移行完了のメールを受信します。

サイボウズドットコムストアで登録したメールアドレスに、データ移行完了のメールが送信されます。

メールを受信できれば、データの移行は完了です。

**Step
13**

クラウド版での作業 cybozu.com共通管理で、データ移行の許可設定を解除します。

詳細は、[データ移行許可の解除からパスワードポリシーの設定まで\(57ページ\)](#)を参照してください。

**Step
14**

クラウド版での作業 移行したデータを確認し、必要な項目を設定します。

詳細は、[データ移行後に必要な設定\(56ページ\)](#)を参照してください。

ローカルコンピューターのメールデータを移行する場合

次のステップで作業します。

Steps:

- Step 1 [データ移行ツールの動作環境を確認します。](#)
- Step 2 [移行するデータの内容などを確認します。](#)
- Step 3 [クラウド版 メールワイズの試用を申し込みます。](#)
- Step 4 [cybozu.com共通管理で、Administratorを「使用中」にします。](#)
- Step 5 [クラウド版 メールワイズのサブドメインを確認します。](#)
- Step 6 [cybozu.com共通管理で、「組織の事前設定」に予約データがないことを確認します。](#)
- Step 7 [cybozu.com共通管理で、データ移行を許可し、クライアント証明書をダウンロードします。](#)
- Step 8 [メンテナンス情報を確認します。](#)
- Step 9 [最新のデータ移行ツールをダウンロードします。](#)
- Step 10 [データ移行ツールを実行します。](#)
- Step 11 [データ移行完了のメールを受信します。](#)
- Step 12 [cybozu.com共通管理で、データ移行の許可設定を解除します。](#)
- Step 13 [移行したデータを確認し、必要な項目を設定します。](#)

Step 1 データ移行ツールの動作環境を確認します。

詳細は、[動作環境と移行可能なデータ量\(15ページ\)](#)を参照してください。

Step 2 ローカルコンピューターでの作業 移行するデータの内容などを確認します。

詳細は、次のページを参照してください。

[移行するメールをEML形式に変換する\(34ページ\)](#)

[移行するメールフォルダのアクセス権を確認する\(36ページ\)](#)

Step 3

クラウド版 メールワイズの試用を申し込みます。

詳細は、[試用方法](#)を参照してください。

すでにクラウド版 メールワイズを試用中または購入済みの場合は、Step4に進みます。

Step 4

クラウド版での作業 cybozu.com共通管理で、Administratorを「使用中」にします。

詳細は、[Administratorを「使用中」にする\(36ページ\)](#)方法を参照してください。

Step 5

クラウド版 メールワイズのサブドメインを確認します。

詳細は、[サブドメインを確認する\(38ページ\)](#)方法を参照してください。

Step 6

クラウド版での作業 cybozu.com共通管理で、「組織の事前設定」に予約データがないことを確認します。

詳細は、[「組織の事前設定」の状態を確認する\(38ページ\)](#)方法を参照してください。

Step 7

クラウド版での作業 cybozu.com共通管理で、データ移行を許可し、クライアント証明書をダウンロードします。

詳細は、[データ移行を許可してクライアント証明書をダウンロードする\(38ページ\)](#)方法を参照してください。

Step 8

クラウド版での作業 メンテナンス情報を確認します。

cybozu.comのメンテナンス中は、データを移行できません。

データ移行中に利用停止の開始時間になった場合、データ移行は中断されます。メンテナンス後に再度、最初からデータ移行の作業が必要になります。

cybozu.comは、日本時間の毎月第2日曜日、午前1時～午前7時に、定期メンテナンスを実施します。

定期メンテナンス時のデータ移行ツールの利用停止期間は、前々日の金曜日午後6時～定期メンテナンス終了までです。金曜日が祝日の場合は、木曜日午後6時から停止します。サイボウズからのお知らせの[メンテナンス情報](#)を参照し、データ移行がcybozu.comのメンテナンスやデータ移行ツールの利用停止期間と重ならないよう、作業日程を組んでください。

Step 9

ローカルコンピューターでの作業 最新のデータ移行ツールをダウンロードします。

詳細は、[データ移行ツールを入手する\(39ページ\)](#)方法を参照してください。

**Step
10****ローカルコンピューターでの作業** データ移行ツールを実行します。

詳細は、[ローカルコンピューターのメールデータを移行する\(48ページ\)](#)方法を参照してください。

**Step
11**

データ移行完了のメールを受信します。

サイボウズドットコムストアで登録したメールアドレスに、データ移行完了のメールが送信されます。

メールを受信できれば、データの移行は完了です。

**Step
12****クラウド版での作業** cybozu.com共通管理で、データ移行の許可設定を解除します。

詳細は、[データ移行の許可の解除からパスワードポリシーの設定まで\(57ページ\)](#)を参照してください。

**Step
13****クラウド版での作業** 移行したデータを確認し、必要な項目を設定します。

詳細は、[データ移行後に必要な設定\(56ページ\)](#)を参照してください。

動作環境と移行可能なデータ量

作業の前に、データ移行ツールの動作環境と、移行できるデータの量を確認します。

動作環境

注意

- **メールワイズ／サイボウズ Office／Garoonの各データを移行する想定がある場合**

各製品によって、必要なデータ移行ツールは異なります。製品にあった正しいデータ移行ツールを使用してください。

また、次の3製品のデータは、同時進行でサイボウズのクラウドサービスに移行できません。

- メールワイズ
- サイボウズ Office
- Garoon

必ず1つの製品のデータ移行が完了してから、次の製品のデータを移行してください。

■ クラウド版 メールワイズの動作環境

クラウド版 メールワイズの動作環境は、パッケージ版 メールワイズの動作環境と異なります。詳細は、サイボウズのクラウドサービスの[動作環境](#)を参照してください。

■ データ移行ツールの動作環境

動作環境以外でデータ移行ツールを使用すると、エラーが発生する場合があります。詳細は、製品サイトの[動作環境](#)を参照してください。

■ プロキシ経由でデータ移行ツールを実行する場合

プロキシ経由でデータ移行ツールを実行する場合は、環境変数を設定する必要があります。詳細は、よくあるご質問の[プロキシサーバーを経由し「メールワイズ on cybozu.com \(クラウド版\)」にアクセスしている環境でも、データ移行ツールを利用できますか?](#)という記事を参照してください。

移行可能なデータ量

データ移行ツールは、100GBまでのデータを移行することを想定して設計されています。

移行するデータ量が100GBを超える場合は、エラーメッセージが表示され、データ移行ツールが終了します。

移行するデータ量が100GBを超える場合は、次のよくあるご質問を参照して、対応方法を確認してください。

- パッケージ版 メールワイズのデータを移行する場合：

[データ移行ツールで、パッケージ版「メールワイズ」のデータ移行時、クラウド版「メールワイズ」へ移行するデータが100GBを超えています。どうすればいいですか？](#)

- ローカルコンピューターのメールデータを移行する場合：

[データ移行ツールで、メールデータを移行時、クラウド版「メールワイズ」へ移行するデータが100GBを超えています。どうすればいいですか？](#)

パッケージ版 メールワイズの運用環境

補足

- ローカルコンピューターのメールデータを移行する場合、この確認は不要です。

お使いのパッケージ版 メールワイズの運用環境に応じて、次の項目を確認します。

お客様所有のサーバーの場合

インストール先のサーバーのAdministrator権限を持つユーザーでサーバーにログインできる場合は、データ移行ツールを使ってデータを移行できます。

レンタルサーバーの場合

インストール先のサーバーのAdministrator権限を持つユーザーでサーバーにログインできる場合は、データ移行ツールを使ってデータを移行できます。

データ移行の操作をすると、レンタルサーバーに負荷がかかる恐れがあります。データを移行する前に、レンタルサーバー業者にデータ移行ツールの使用が可能かどうかを確認してください。レンタルサーバーからのデータ移行が難しい場合は、次の方法でのデータ移行をご検討ください。

操作手順：

1. 移行するデータを確認します。

詳細は、[パッケージ版 メールワイズから移行できるデータ\(18ページ\)](#)を参照してください。

2. レンタルサーバーから、手順1で確認したデータをお客様のローカル環境にダウンロードします。

3. お客様のローカル環境に、レンタルサーバーで運用している環境と同じバージョンのメールワイズの環境を構築します。

メールワイズを構築する手順は、[インストール](#)を参照してください。

4. 手順3の環境に、手順2のデータをリストアします。

データをリストアする手順は、[リストア](#)を参照してください。

5. 手順3の環境でデータ移行ツールを起動し、データを移行します。

パッケージ版 メールワイズから移行できるデータ

補足

- ローカルコンピューターのメールデータを移行する場合、この確認は不要です。

クラウド版に移行できるデータは、移行元のパッケージ版 メールワイズのバージョンによって異なります。

■ メールワイズ 5

移行元のバージョンがメールワイズ 5の場合の移行できるデータと移行できないデータは、次のとおりです。

移行できるデータ	移行できないデータ
<ul style="list-style-type: none"> (データディレクトリ) /mw/data (データディレクトリ) /mw/back[ID] (データディレクトリ) /mw/dlsrc (データディレクトリ) /mw/file 	<p>移行できるデータのうち、次のデータとファイルは移行できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> data/check data/.htaccess file/.htaccess file/logs file/mail[ID]/rlog.txt file/mail[ID]/slog.txt

メールワイズ 5のファイル構成の詳細は、[ファイル構成](#)を参照してください。

■ メールワイズ 4／メールワイズ 3

移行元のバージョンがメールワイズ 4またはメールワイズ 3の場合の移行できるデータと移行できないデータは、次のとおりです。

移行できるデータ	移行できないデータ
<ul style="list-style-type: none"> (インストールディレクトリ) /mw/data 	

移行できるデータ	移行できないデータ
<ul style="list-style-type: none">• (インストールディレクトリ) /mw/back[ID]• (インストールディレクトリ) /mw/dlsrc• (インストールディレクトリ) /mw/file	<p>移行できるデータのうち、次のデータとファイルは移行できません。</p> <ul style="list-style-type: none">• data/check• data/.htaccess• file/.htaccess• file/logs

ローカルコンピューターから移行できるデータ

補足

- パッケージ版 メールワイズのデータを移行する場合、この確認は不要です。

ローカルコンピューターのOutlookなどに保存している、次のメールデータを移行できます。

- 受信メール
- 送信メール

メールデータは、EML形式である必要があります。

EML形式以外のメールデータは、EML形式に変換してから移行します。

詳細は、[移行するメールをEML形式に変換する\(34ページ\)](#)方法を参照してください。

注意

- 次の条件にあてはまるメールデータは、移行できない場合があります。
 - ファイルのパス（ファイル名含む）が長い
 - ファイルのパスに日本語やハイフン（-）が含まれている

- フォルダ名に半角スペースが含まれている

該当する場合、フォルダ名やファイル名を変更してから、メールアドレスを移行してください。

- クラウド版 メールワイズにメールアドレスを移行すると、メールに付属するアカウント情報が無効になります。
移行したメールアドレスは、アカウントをキーワードにして検索できなくなります。
- 移行したメールアドレスは、クラウド版 メールワイズで「処理済み」となります。

移行によって更新されるデータ

補足

- ローカルコンピューターのメールアドレスを移行する場合、この確認は不要です。

データを移行すると、クラウド版のデータが更新されたり、削除されたりします。

ここでは、パッケージ版のユーザー情報やパスワード、組織情報などのデータが、移行時にどのように扱われるかを説明します。

クラウド版のデータ

データを移行すると、移行先のクラウド版のデータは、移行元のパッケージ版のデータで上書きされます。

このため、データを移行する前にクラウド版に登録しているデータは削除されます。

すでにクラウド版の運用を開始している場合は、データを移行する前に、必要なデータをCSVファイルに書き出すことを推奨します。

ユーザー情報

データを移行すると、パッケージ版のユーザー情報は、クラウド版の「cybozu.com共通管理」に取り込まれます。

すでにクラウド版 メールワイズをお使いで、パッケージ版とクラウド版の両方に同じログイン名のユーザーが存在する場合、パッケージ版のデータを使ってクラウド版のユーザー情報を更新するかどうかを選択できます。

注意

・パスワードについて

パッケージ版のデータを使ってクラウド版のユーザー情報を更新する場合、クラウド版のパスワードは、パッケージ版のパスワードで更新されます。クラウド版への初回ログインには、パッケージ版のパスワードを入力します。ただし、パスワード入力後に新しいパスワードの再設定が必要です。

パッケージ版のデータを使ってクラウド版のユーザー情報を更新しない場合、クラウド版のパスワードはパッケージ版のパスワードでは更新されません。移行前からクラウド版をお使いのユーザーが、移行後のクラウド版に初回ログインする際には、移行前にクラウド版で使用していた従来のパスワードを入力します。

パッケージ版のユーザー情報は、cybozu.com共通管理に次のように取り込まれます。パッケージ版の「画像」「メモ」、および「最初に表示する組織」は移行できません。

- ・パッケージ版の「名前」は、クラウド版の「表示名」に取り込まれます。
- ・パッケージ版の「メールアドレス」は、クラウド版の「メールアドレス」に取り込まれません。
- ・パッケージ版の「連絡先」は、クラウド版の「電話番号」に取り込まれます。
- ・パッケージ版のユーザーの表示順は、クラウド版の「表示優先度」に取り込まれます。

組織情報

データを移行すると、パッケージ版に登録されていた組織情報は、クラウド版の「cybozu.com共通管理」に取り込まれます。

cybozu.com共通管理に統合される情報

- クラウド版の「組織名」は、パッケージ版の「組織名（旧：グループ名）」で更新されます。
- クラウド版の組織コードは、パッケージ版の組織情報と統合する際に、パッケージ版の組織IDをもとに、システムによって自動的に設定されます。
組織コードを変更すると、データ移行ツールの実行時に、パッケージ版から移行した組織が重複して追加される恐れがあります。システムによって自動的に設定された組織コードは変更しないでください。
- クラウド版の組織の所属ユーザーの情報は、パッケージ版の組織の所属ユーザーの情報で更新されます。

cybozu.com共通管理での組織の表示について

cybozu.com共通管理の組織は階層化できますが、データ移行に伴い追加された組織は並列で表示されます。移行元のパッケージ版 メールワイズの組織情報が階層表示に対応していないためです。

ただし、移行前にcybozu.com共通管理に組織が登録されていたかどうかで、追加された組織が表示される状態は異なります。

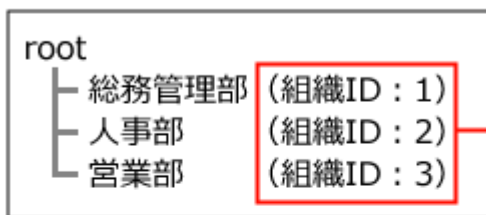
■ cybozu.com共通管理に組織を設定していない場合

移行元の組織情報は、そのまま移行先のcybozu.com共通管理に取り込まれます。

移行元の組織コードは、組織IDを利用して、データ移行ツールを実施する場合のみ、システムによって強制的に生成されます。通常、移行元のパッケージ版に組織コードは存在しません。



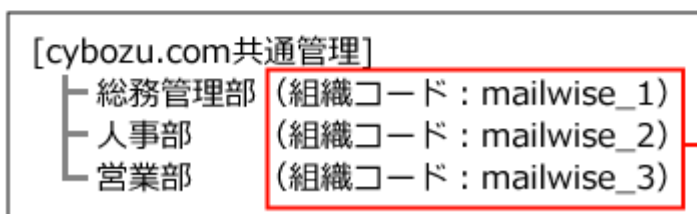
移行前：パッケージ版



システム内で保持しているデータです。変更できません。



移行前：クラウド版



移行ツールを実施して生成された組織コードです。

■ cybozu.com共通管理に組織を設定している場合

移行元の組織情報は「メールワイズの組織」として、まとめてcybozu.com共通管理に取り込まれます。データの移行によって追加された組織とわかるように、組織名の後ろに「(MW)」が付け加われます。

移行前：クラウド版

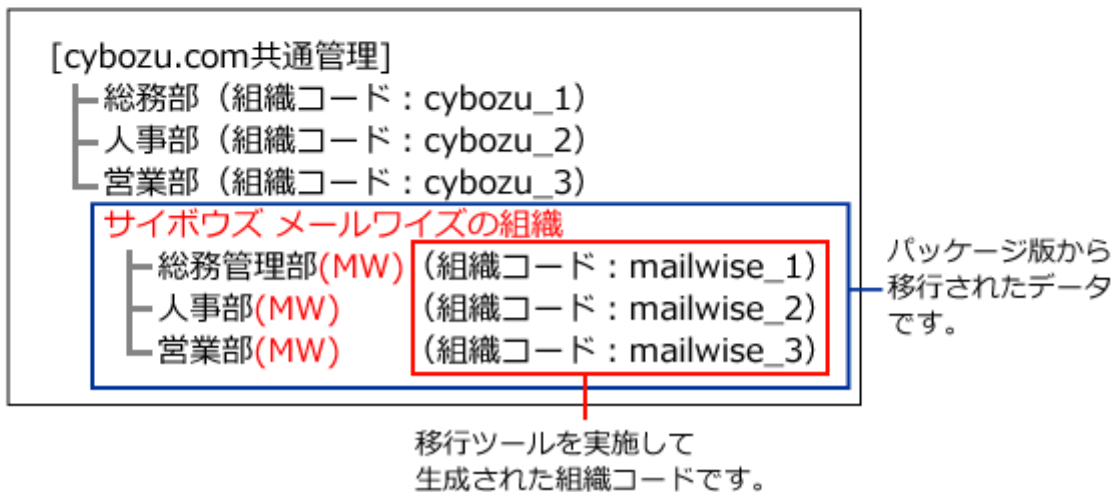
```
[cybozu.com共通管理]
├─ 総務部 (組織コード：cybozu_1)
├─ 人事部 (組織コード：cybozu_2)
└─ 営業部 (組織コード：cybozu_3)
```

移行前：パッケージ版

```
root
├─ 総務管理部 (組織ID：1)
├─ 人事部 (組織ID：2)
└─ 営業部 (組織ID：3)
```

システム内で保持しているデータです。変更できません。

移行後：クラウド版



補足

- cybozu.com共通管理の組織名に設定できる文字数は、組織名に付加される「(MW)」を含め、128文字までです。
128文字を超えると、組織名が途中までしか表示されません。
移行元で組織名を124文字以内にしておくか、移行後に組織名を編集し、文字数を減らしてください。
- 組織やユーザーを管理する機能の違いや注意事項は、次のページで案内しています。
[組織情報の統合について\(60ページ\)](#)

データ移行ツールを複数回実行する場合の注意

実際の作業の前に試験的にデータ移行ツールを実施する場合や、移行中のエラーにより再度データ移行を実施する場合など、データ移行ツールを複数回実行することがあります。

このような場合での組織情報の扱いについて説明します。

データの移行では、移行元と移行先で組織コードが同一であれば、同じ組織とみなします。

cybozu.com共通管理側で組織コードを変更しない限り、データ移行ツールを複数回実行しても、組織が重複して追加されることはありません。

ただし、次の変更をしている場合は、次回のデータ移行でcybozu.com共通管理に反映される内容が異なるため、注意が必要です。

- 前回のデータ移行から、移行元で組織名や所属ユーザーを変更している。
- 前回のデータ移行で取り込んだ組織の組織コードを、移行先で変更している。

■ 前回のデータ移行から、移行元で組織名や所属ユーザーを変更している場合

移行元と移行先で組織コードが同一であれば、次のようにデータが移行されます。

• 組織名：



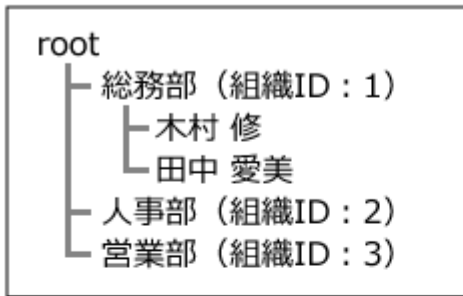
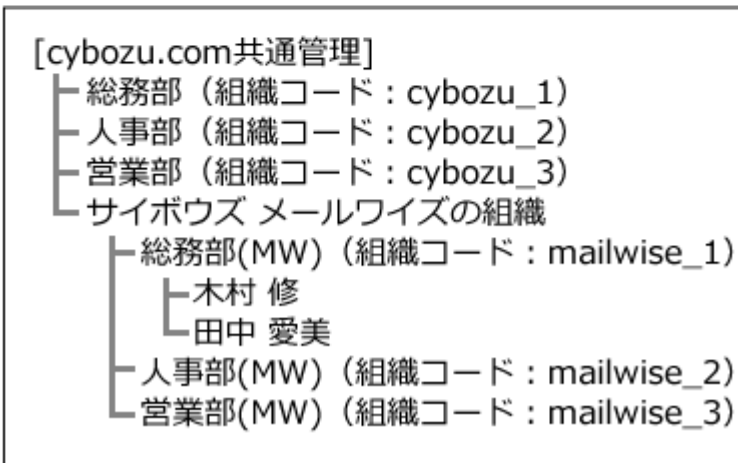
一度移行された情報は、データ移行ツールでは更新や削除ができません。

データを移行したあとにパッケージ版の組織名を変更した場合は、手動でcybozu.com共通管理の組織名を更新する必要があります。

• 組織に所属するユーザー：

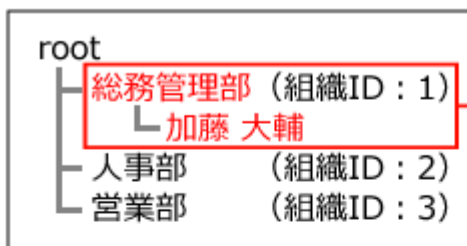
前回のデータ移行時から、追加された所属ユーザーのみ、cybozu.com共通管理に移行されません。所属ユーザーの変更や削除は、cybozu.com共通管理で行います。

- 移行ツール実行1回目

 **移行前：パッケージ版** **移行前：クラウド版**

- 移行ツール実行2回目

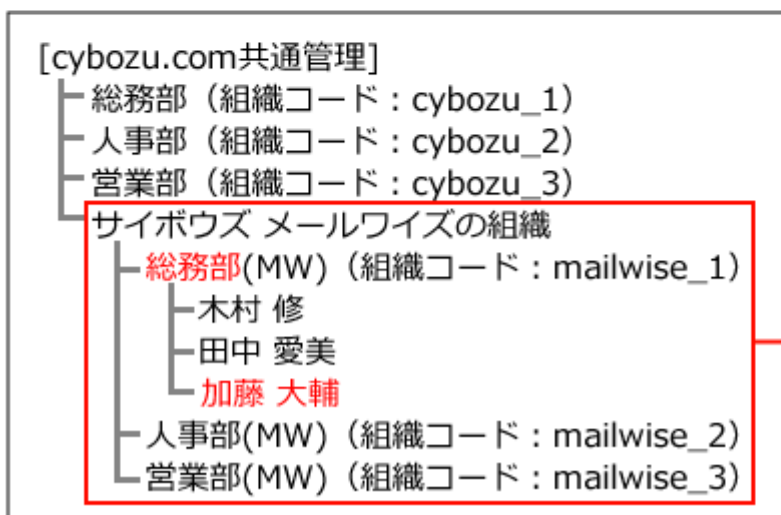
移行前：パッケージ版



データ移行ツール実行1回目から、組織名と組織に所属するユーザーが変更されています。



移行前：クラウド版



組織名と組織コードは更新されません。パッケージ版で追加された所属ユーザーの情報のみ、クラウド版に追加されます。

■ 前回のデータ移行で取り込んだ組織の組織コードを、移行先で変更している場合

次回のデータ移行で新規の組織として移行先に追加されます。

セキュアアクセスのクライアント証明書

セキュアアクセスのクライアント証明書は継続して使用できます。データを移行しても、クライアント証明書を更新する必要はありません。

詳細は、cybozu.comヘルプの[セキュアアクセスを設定する方法](#)を参照してください。

443ポートの開放

クラウド版の環境（cybozu.com）には、443ポートでアクセスします。

そのため、データを移行する前に、お客様のサーバーやファイアウォールなどのネットワーク機器で「443ポート」を開放する必要があります。

ポート開放の手順は、移行元製品でお使いのサーバーの管理者やネットワーク管理者にお問い合わせください。

1.2. パッケージ版 メールワイズでの準備

移行元のパッケージ版 メールワイズで必要な準備を説明します。

補足

- ローカルコンピューターのメールデータを移行する場合、この準備は不要です。

移行するユーザー数を確認する

データ移行ツールを使って、クラウド版 メールワイズに移行できるユーザー数は、300人以下を想定しています。

移行するユーザー数が300人を超える場合は、よくあるご質問の[カスタマーサポートへの問い合わせ方法を教えてください](#)。という記事を確認し、サイボウズまでお問い合わせください。

製品バージョンを確認する

移行元のメールワイズのバージョンを確認し、必要に応じてバージョンアップしてください。

補足

- バージョン 3以前のメールワイズをメールワイズ 5にバージョンアップすると、ライセンスの状態が試用版になります。
60日間の試用期間中にデータを移行すれば、メールワイズ 5のライセンスは必要ありません。
-

■ メールワイズ 5/メールワイズ 4/メールワイズ 3をお使いの場合

最新版のメールワイズ 5にバージョンアップする必要はありません。

お使いの環境でデータ移行ツールを使って、クラウド版 メールワイズにデータを移行できます。

■ メールワイズ 2/メールワイズ 1をお使いの場合

メールワイズ 3以降にバージョンアップしてから、データ移行ツールを使用します。

ユーザー情報連携を解除する

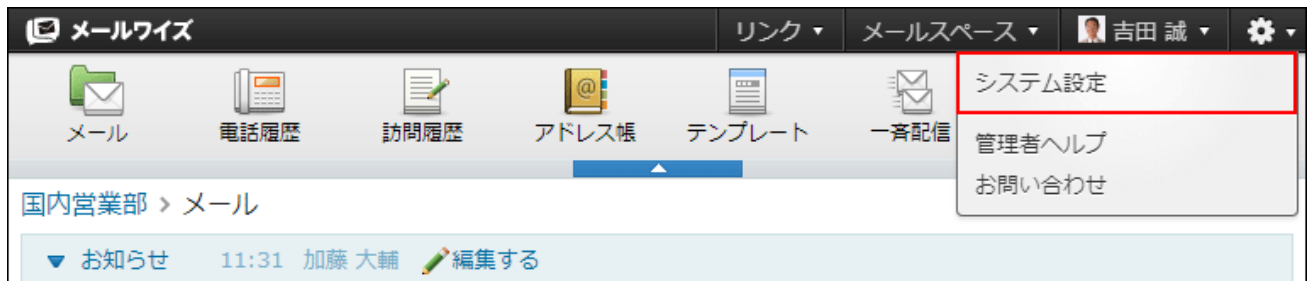
パッケージ版 サイボウズ Officeとユーザー情報連携を設定している場合は、次の手順で連携を解除する必要があります。

注意



- ユーザー情報連携を解除すると、パッケージ版 メールワイズの組織（旧：グループ）に対するアクセス権の設定が無効になります。
ユーザー情報連携を解除した場合は、データを移行したあと、クラウド版 メールワイズでアクセス権を再設定する必要があります。
詳細は、よくあるご質問の[サイボウズ Officeとユーザー情報を連携していますが、ユーザー情報連携を解除した場合どうなりますか？](#)という記事を参照してください。
-

操作手順：

1. ヘッダーの歯車アイコンをクリックします。
2. [システム設定]をクリックします。



システム管理用パスワードを設定している場合は、パスワードを入力し、[OK]をクリックします。

3. 左ペインで、 **全般** をクリックします。
4. 「ユーザー管理」セクションの  **ユーザー** をクリックします。
5. **サイボウズ (R) Officeシリーズとのユーザー情報の連携** をクリックします。
6. 「サイボウズ (R) Office シリーズとユーザー情報を連携しない」を選択します。
7. 設定内容を確認し、**設定する** をクリックします。

ログインに関する設定を確認する

クラウド版 メールワイズでは、ログイン時に「ログイン名」と「パスワード」の入力が必要です。

データ移行を開始する前に、パッケージ版 メールワイズで、次の2点を確認します。

- ログイン名とパスワードを設定している。
- ログイン方法を「ログイン名を入力する」に設定している。

ログイン名とパスワードが設定されていることを確認する

移行先のクラウド版 メールワイズでは、ログイン名とパスワードを使用してログインします。移行元のパッケージ版 メールワイズで、ログイン名とパスワードが設定されていない場合は、ログイン名とパスワードを設定してから移行を実施します。

注意

• ログイン名の設定について

- すべてのユーザーにログイン名を設定し、ほかのどのユーザーとも重複しないログイン名を設定する。
- / \ [] " : ; | < > + = , ? * の文字を使用しない。
- ログイン名を100文字以下で設定する：
クラウド版に移行したあとは、100文字以上のログイン名を設定することも可能です。
- ログイン名の前後から空白を削除する：
半角全角にかかわらず、ログイン名の前後に空白がないようにする必要があります。

ログイン名とパスワードを設定する手順は、[ユーザー情報を変更する方法](#)を参照してください。CSVファイルを使って、一括でログイン名とパスワードを設定することもできます。

ログイン方法を確認する

ログイン方法を「ログイン名を入力する」に設定します。

まず、現在のログイン方法が、次のどちらの方法に設定されているかを確認します。

• ログイン名を入力するログイン方法：

ログイン方法の設定を変更する必要はありません。

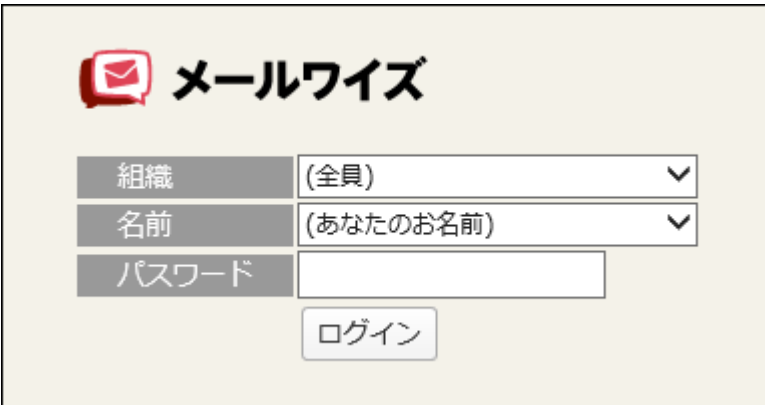


The screenshot shows the MailWise login interface. At the top left is the MailWise logo (a red envelope icon) and the text 'メールワイズ'. Below the logo are two input fields: 'ログイン名' (Login Name) and 'パスワード' (Password). A 'ログイン' (Login) button is positioned below the password field.

• **組織と名前を選択するログイン方法：**

ログイン方法を「ログイン名を入力する」に変更する必要があります。

ログインの際に、ログイン名とパスワードが必須になるため、各ユーザーのログイン名とパスワードが設定されていることを確認してください。



The screenshot shows the MailWise login interface with dropdown menus. At the top left is the MailWise logo (a red envelope icon) and the text 'メールワイズ'. Below the logo are three input fields: '組織' (Organization) with a dropdown menu showing '(全員)' (All), '名前' (Name) with a dropdown menu showing '(あなたのお名前)' (Your name), and 'パスワード' (Password). A 'ログイン' (Login) button is positioned below the password field.

ログイン方法を変更する

ログイン方法を「ログイン名を入力する」に変更すると、ログイン名が設定されていないユーザーはログインできなくなります。ユーザーのログイン名を設定してから、ログイン方法を変更してください。

ログイン方法を変更する手順は、[ログイン方法の変更](#)を参照してください。

メールサーバーにメールを残す

移行先のクラウド版では、データを移行した直後から、メールの自動受信が開始されます。

移行元と移行先のメールワイズでメールデータに差分がないよう、データを移行する前に、移行元のパッケージ版 メールワイズに登録しているすべてのメールアカウントで「受信メールサー

バーにメールを残す」設定が必要です。

設定を変更する手順は、[メールアカウントを変更する](#)方法を参照してください。

移行元のメールアカウントの「受信メールサーバーにメールを残す」設定は、移行先のクラウド版 メールワイズに引き継がれます。

データが移行できたことを確認したあと、移行先のクラウド版 メールワイズで「受信メールサーバーにメールを残す」設定を解除してください。

POP before SMTPを無効にする

クラウド版 メールワイズにデータを移行する前に、パッケージ版のメールワイズでPOP before SMTPの設定が無効になっていることを確認します。

設定が有効になっていると、データを移行できません。

POP before SMTPの設定を確認する手順は、[メールサーバーの設定](#)を参照してください。

1.3. ローカルコンピューターでの準備

ローカルコンピューターのメールデータを移行する場合に、ローカルコンピューターで必要な準備を説明します。

補足

- パッケージ版 メールワイズのデータを移行する場合、この準備は不要です。
-

移行するメールをEML形式に変換する

データ移行ツールは、EML形式のメールデータのみに対応しています。

移行するメールデータをEML形式のメールソースファイルに変換してから、データを移行する必要があります。

■ EML形式とは？

Thunderbirdなどで使われる、標準的なメールのファイル形式です。1メールが1ファイルになります。

EML形式に変換する方法は、お使いのメールソフトによって異なります。

注意

- 次の条件にあてはまるメールデータは移行できない場合があります。
 - ファイルのパス（ファイル名含む）が長い。
 - ファイルのパスに日本語やハイフン（-）が含まれている。
 - フォルダ名に半角スペースが含まれている。

該当する場合、フォルダ名やファイル名を変更してから、メールデータを移行してください。

ここでは、Thunderbirdの場合を例に、メールデータをEML形式に変換する手順を説明します。

操作手順：

1. ローカルコンピューターの任意の場所に、一時フォルダを作成します。
2. Thunderbirdを起動し、クラウド版 メールワイズに移行するメールをドラッグアンドドロップで手順1のフォルダに移動します。

フォルダに移動したメールは、自動的にEML形式に変換され、メールの件名に「.eml」という拡張子が付いたファイルになります。

クラウド版 メールワイズに移行する際に、メールデータのファイル名が長いと、正常に移行できない場合があります。

ファイル名が長い場合は、短いファイル名に変更してから、メールデータを移行してください。

移行するメールフォルダのアクセス権を確認する

アクセス権のないメールフォルダは正常に移行できません。

サポートガイドの[製品を利用するために必要なアクセス権の設定](#)を参照し、アクセス権が正しく設定されているかどうかを確認してください。

1.4. クラウド版 メールワイズでの準備

データ移行ツールを実行する前に必要な、移行先のクラウド版 メールワイズでの準備を説明します。

試用を申し込む

移行先となるクラウド版 メールワイズの試用を申し込みます。申し込み手順は、[試用方法](#)を参照してください。

すでにクラウド版 メールワイズを試用中、または購入済みの場合は、再度試用を申し込む必要はありません。

Administratorを「使用中」にする

データ移行ツールの実行には、クラウド版の特別なユーザーであるAdministratorが必要です。試用または購入直後のクラウド版ではAdministratorの使用状態が「停止中」になっているため、「使用中」に変更してください。変更方法は、[Administratorを「使用中」に変更するには](#)を参照してください。

試用を申し込んだユーザーのログイン名を変更する

補足

- ローカルコンピューターのメールデータを移行する場合、この準備は不要です。

試用開始直後のクラウド版では、試用を申し込んだユーザーのメールアドレスが、ユーザーの表示名とログイン名に設定されます。パッケージ版とクラウド版のユーザーのログイン名が異なる場合、同一ユーザーとしてデータを移行できません。

クラウド版の試用を申し込んだユーザーのログイン名を修正してください。詳細は、cybozu.com ヘルプの[ユーザー情報を変更する](#)方法を参照してください。

■ 吉田 誠さんがクラウド版の試用を申し込んだ場合の例

- パッケージ版の吉田さんのユーザー情報
 - 名前：吉田 誠
 - ログイン名：yoshida
- クラウド版の吉田さんのユーザー情報
 - 表示名：yoshida@example.com
 - ログイン名：yoshida@example.com

この状態でデータを移行すると、クラウド版には、ログイン名が「yoshida@example.com」というユーザーとは別に、ログイン名が「yoshida」というユーザーが作成されてしまいます。このため、クラウド版の吉田さんのログイン名を「yoshida」に変更します。

- クラウド版の吉田さんのユーザー情報
 - 表示名：yoshida@example.com
 - ログイン名：yoshida

クラウド版の表示名とパッケージ版の名前の一致は任意です。データ移行ツールを実行すると、クラウド版の表示名はパッケージ版の名前で更新されます。

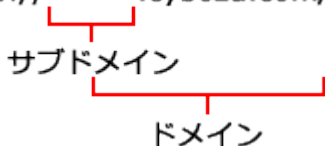
サブドメインを確認する

クラウド版 メールワイズのサブドメインを確認してください。サブドメインは、クラウド版 メールワイズのURLから確認できます。

サブドメインの確認方法は、よくあるご質問の[会社コード、ドメインID、サブドメイン名の確認方法を教えてください。](#)という記事でも案内しています。

サブドメインがわからない場合は、クラウド版 メールワイズの試用を申し込んだ、または購入したユーザー（サイボウズドットコムストア管理者）に問い合わせてください。

例：

https://****.cybozu.com/m/


「組織の事前設定」の状態を確認する

cybozu.com共通管理の「組織の事前設定」に予約データがないことを確認します。

予約データがあると、データ移行ツールを実行できません。予約データを組織に反映するか、削除してください。操作方法は次のページを参照してください。

[予約データを反映する](#)

[予約データを削除する](#)

データ移行を許可してクライアント証明書をダウンロードする

cybozu.com共通管理で、パッケージ版 メールワイズからのデータ移行を許可し、データ移行に必要なクライアント証明書をダウンロードしてください。

注意

- cybozu.com共通管理の「組織の事前設定」に予約データがあると、データ移行を許可できません。予約データを組織に反映するか、削除してください。
- クライアント証明書の有効期間は、ダウンロードしてから14日間です。有効期間を過ぎたクライアント証明書は利用できません。有効期間を過ぎた場合は、再度クライアント証明書をダウンロードしてください。

操作手順：

1. cybozu.com共通管理にログインする

cybozu.comヘルプの[cybozu.com共通管理にログインする](#)方法を参照してください。

2. 左ペインで、**パッケージ版からの移行** をクリックします。

3. 「パッケージ版からの移行」画面で、「パッケージ版メールワイズからのデータ移行を許可する」のチェックボックスを選択し、**保存** をクリックします。

4. **クライアント証明書のダウンロード** をクリックします。

5. データ移行ツールを実行するパッケージ版 メールワイズのサーバーまたはローカルコンピュータに、クライアント証明書を保存します。

1.5. データを移行する

データ移行ツールを実行し、クラウド版にデータを移行します。

データ移行ツールを入手する

製品サイトの[データ移行ツールダウンロード](#)ページから、最新版のデータ移行ツールをダウンロードしてください。

バージョンが古いデータ移行ツールを使用すると、エラーが発生します。

データ移行ツールを途中で終了する

データの移行処理に想定以上の時間がかかる場合や、エラーが解消しない場合に、データ移行ツールの処理を途中で終了できます。

次の手順でデータ移行ツールを終了します。

操作手順：

1. キーボードのCtrlキーを押しながら、「C」を押し、データ移行ツールの処理を中断します。
2. コマンドラインで「Y」を入力し、Enterキーを押して、データ移行ツールを終了します。
3. 移行元のパッケージ版 メールワイズにアクセスし、メンテナンスモードが解除されていることを確認します。

■ メンテナンスモードが解除されていない場合

データ移行ツールを途中で終了しても、メンテナンスモードが自動的に解除されない場合があります。

移行元のパッケージ版がインストールされているサーバーから、次のファイルを削除して、メンテナンスモードを解除できます。

• 削除するファイル：

- メールワイズ 5の場合：

(データディレクトリ) /mw/data/のmaintファイル

- メールワイズ 4またはメールワイズ 3の場合：

(CGIディレクトリ) /mw/data/のmaintファイル

データ移行にかかる時間の目安

サーバーのスペックやネットワーク環境によって、処理に時間がかかる場合があります。目安として、次のよくあるご質問の記事で過去の実績を公開しています。

[クラウド版へのデータ移行時間の目安を教えてください。](#)

パッケージ版 メールワイズのデータを移行する

パッケージ版からクラウド版にデータを移行します。

次の場合を例に説明します。

- 移行元の製品：メールワイズ 5
- インストール識別子：cbmw
- Webサーバー：IIS

注意

- 移行前にメールアプリケーションを別のメールスペースに移動し、さらに顧客とメールを手動で紐付けていた場合、メールワイズをクラウド版に移行すると、メールアドレスをもとにメールと顧客が紐付けし直されます。

操作手順：

1. データを移行する準備が整っていることを確認します。

次のページを参照して、移行する前の準備事項を確認します。

[作業の前に確認すること\(7ページ\)](#)

[パッケージ版 メールワイズでの準備\(29ページ\)](#)

[クラウド版 メールワイズでの準備\(36ページ\)](#)

2. メールサイズ 5のファイル構成を確認します。

詳細は、[ファイル構成](#)を参照してください。

3. データ移行ツール「mw-migration-1.x.x-windows.zip」を、メールサイズ 5をインストールしているサーバー内の任意のフォルダに保存し、解凍します。

4. 解凍した「migration」フォルダの直下に、クライアント証明書「cybozu-migration-cert.p12」を配置します。

クライアント証明書の入手方法は、[データ移行を許可してクライアント証明書をダウンロードする\(38ページ\)](#)方法を参照してください。

5. 「migration」フォルダ内にあるデータ移行ツール「migration.bat」を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。

データ移行ツールが起動します。

6. 使用許諾契約書を確認したら、「Y」を入力し、Enterキーを押します。

表示されている使用許諾契約書は、EnterキーまたはSpaceキーを押して最後まで確認してください。

使用許諾契約書に同意しない場合は「N」を入力してからEnterキーを押し、データ移行ツールを終了します。

7. 「0」を入力し、Enterキーを押します。

このツールは、次の操作をするためのツールです。

- 次のパッケージ版の製品データをメールサイズ on cybozu.comへ移行する。
 - メールサイズ 3、メールサイズ 4、メールサイズ 5
- ローカルコンピューターに保存されているメールをツールにインポートし、インポートしたデータをメールサイズ on cybozu.comに移行する。

目的の操作の番号を入力し、Enterキーを押してください。

[0] パッケージ版の製品データをメールサイズ on cybozu.comへ移行する。

[1] ローカルコンピューターに保存されているメールをツールにインポートし、インポートしたデータをメールワイズ on cybozu.comに移行する。

8. 手順2で確認したインストールディレクトリが表示されていれば、「0」を入力し、Enterキーを押します。

データを移行する製品のインストールディレクトリを次の項目から選択してください。

[0]C:\Inetpub\scripts\cbmw

[1]インストールディレクトリを手動で入力する

・インストールディレクトリを手動で入力する場合：

インストールディレクトリが表示されない場合は、手動でディレクトリを入力する必要があります。

「1」を入力してEnterキーを押したあと、インストールディレクトリを入力し、Enterキーを押します。

正しくないインストールディレクトリを入力すると、「ディレクトリが存在しません。」というメッセージが表示されます。再度、手動で入力する手順を繰り返してください。

9. Enterキーを押して、メールワイズ 5をメンテナンスモードに設定します。

処理を継続するには、データを移行する製品をメンテナンスモードに設定する必要があります。

メンテナンスモード中は製品にアクセスできません。

Enterキーを押すと、メンテナンスモードに設定します。

・エラーメッセージが表示された場合の対処

次のようなエラーメッセージが表示された場合は、Enterキーを押して、データ移行ツールを終了します。対処方法の詳細は、[エラーへの対処\(53ページ\)](#)を参照してください。

エラーメッセージの例：

メールワイズ on cybozu.comへ移行できないデータが見つかりました。
詳細はmigration_error.logを参照してください。

システム設定画面で、ログイン方法に「ログイン名を入力する」を設定してください。

処理を中断しました。
終了するには、Enterキーを押してください。

10. すでに運用しているサイボウズのクラウドサービスのユーザー情報をメールワイズ5のユーザー情報で更新する場合は、「Y」を入力してEnterキーを押します。

クラウドサービスとパッケージ版でログイン名が同じユーザー情報がある場合、
パッケージ版のデータで更新しますか？ [Y/N]

- **同じログイン名のユーザー情報があっても、パッケージ版のユーザー情報で更新しない場合：**

「N」を入力してEnterキーを押します。

詳細を確認する場合は、[移行によって更新されるデータ\(21ページ\)](#)を参照してください。

11. クラウド版 メールワイズに移行するデータを一時保存するディレクトリを入力します。

移行元のインストールディレクトリまたはデータディレクトリにデータを保存する場合は、何も入力せずにEnterキーを押します。

パッケージ版の製品からメールワイズ on cybozu.comへ移行するデータを作成します。

データを保存するディレクトリを入力してください。

何も入力しない場合は、次のディレクトリにデータを保存します。

[C:\cybozu\mailwise\cbmw]

注意

- **データの保存先にネットワークドライブを指定した場合**

保存先にネットワークドライブを指定すると、正常に空き容量を計算できないこと

が原因で、データ移行ツールが強制終了する場合があります。

強制終了した場合は、十分な空き容量が確保できる設定になっているかなど、指定先の環境の状態も含めて確認してください。

12. サブドメインを入力し、Enterキーを押します。

13. クライアント証明書のファイル名を絶対パスで入力し、Enterキーを押します。

表示されているファイルを使用する場合は、何も入力せずにEnterキーを押します。

cybozu.com共通管理で入手したクライアント証明書のファイル名を絶対パスで入力してください。

何も入力しない場合は、次のクライアント証明書を使用します。

[C:\Users\Administrator\Desktop\mw-migration-1.0.8-windows\migration\cybozu-migration-cert.p12]

14. Administratorのパスワードを入力し、Enterキーを押します。

セキュリティ保護のため、パスワードの文字列は画面に表示されません。

15. 表示された情報を確認し、データ移行を実行する場合はEnterキーを押します。

```
=====
移行する製品のインストールディレクトリ：C:\inetpub\scripts\cbmw
データの保存ディレクトリ：C:\cybozu\mailwise\cbmw\cbmwdata.tar.gz
移行先のドメイン：*****.cybozu.com
移行データのサイズ：4(MB)
サイボウズクラウドサービスのユーザー情報の更新：はい
=====
この内容で実行します。
続行するにはEnterキーを押してください。
```

16. 指定したドメインにあるクラウド版 メールワイズのデータが削除されることを承諾する場合は、「Y」を入力し、Enterキーを押します。

データのアップロードが完了すると、自動的にメンテナンスモードは解除されます。

=====

【注意】

データを移行すると、移行先に指定したドメインにあるメールワイズのデータは削除されます。

- お客様のドメイン：*****.cybozu.com

=====

データを移行しますか？

[Y/N]:

補足

- データをアップロード中、別のコマンドプロンプト画面が表示され、「Active code page : 65001」のメッセージを表示します。
このコマンドプロンプト画面は閉じないでください。閉じるとデータの移行に失敗します。
- データをアップロード中、エラーが発生する場合があります。
原因の例：
 - 一時的なネットワークの異常
 - データベースの破損

データ移行ツールが強制終了した場合は、よくあるご質問の[カスタマーサポートへの問い合わせ方法を教えてください](#)という記事を確認し、サイボウズまでお問い合わせください。

17. Enterキーを押して、データ移行ツールを終了します。

処理が完了しました。

サイボウズドットコムストアから作業完了のメールを送信しています。

データ移行ツールを終了し、メールを受信してください。

Enterキーを押すと、このツールを終了します。

18. データ移行完了のメールを受信します。

データの移行が完了すると、サイボウズドットコムストアの管理者に、次の件名のメールが送信されます。

[サイボウズドットコムストア]データアップロード・コンバートが正常に終了しました (Mailwise)

19. クラウド版 メールワイズにアクセスして、データが移行されていることを確認します。

データ移行完了メールに記載されているURLにアクセスすると、データが移行されていることを確認できます。

20. データ移行後の作業をします。

これでデータ移行は完了です。

[データ移行後に必要な設定\(56ページ\)](#)に進んでください。

補足

- データ移行後、クラウド版 メールワイズの[メールの全文検索](#)に必要なインデックスの作成が開始されます。インデックスの作成が完了する前でも、クラウド版 メールワイズの利用を開始できます。

インデックスの作成が完了したら、サイボウズドットコムストアの管理者に次の件名のメールが送信され、メールの全文検索を利用できます。

[サイボウズドットコムストア]検索インデックスの作成が正常に終了しました (Mailwise)

ローカルコンピューターのメールデータを移行する

ローカルコンピューターに保存されているメールデータをクラウド版 メールワイズに移行します。

操作手順：

1. データを移行する準備が整っていることを確認します。

次のページを参照して、移行する前の準備事項を確認します。

[作業の前に確認すること\(7ページ\)](#)

[ローカルコンピューターでの準備\(34ページ\)](#)

[クラウド版 メールワイズでの準備\(36ページ\)](#)

2. メールデータがあるローカルコンピューターの任意のフォルダにデータ移行ツール「mw-migration-1.x.x-windows.zip」を保存し解凍します。

3. 解凍した「migration」フォルダの直下に、クライアント証明書「cybozu-migration-cert.p12」を配置します。

クライアント証明書の入手方法は、[データ移行を許可してクライアント証明書をダウンロードする\(38ページ\)](#)方法を参照してください。

4. 「migration」フォルダ内にあるデータ移行ツール「migration.bat」を右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。

データ移行ツールが起動します。

5. 使用許諾契約書を確認したら、「Y」を入力し、Enterキーを押します。

表示されている使用許諾契約書は、EnterキーまたはSpaceキーを押して最後まで確認してください。

使用許諾契約書に同意しない場合は「N」を入力してからEnterキーを押し、データ移行ツールを終了します。

6. 「1」を入力し、Enterキーを押します。

このツールは、次の操作をするためのツールです。

- 次のパッケージ版の製品データをメールワイズ on cybozu.comへ移行する。
 - メールワイズ 3、メールワイズ 4、メールワイズ 5
- ローカルコンピューターに保存されているメールをツールにインポートし、インポートしたデータをメールワイズ on cybozu.comに移行する。

目的の操作の番号を入力し、Enter キーを押してください。

[0]パッケージ版の製品データをメールワイズ on cybozu.comへ移行する。

[1]ローカルコンピューターに保存されているメールをツールにインポートし、インポートしたデータをメールワイズ on cybozu.comに移行する。

7. 移行するメールデータがEML形式に変換されていることを確認します。

詳細は、[ローカルコンピューターでの準備\(34ページ\)](#)を参照してください。

ローカルコンピューターのメールを、データ移行ツールにインポートします。

インポートするメールは、eml形式のメールソースファイルに変換しておく必要があります。

メールソースファイルの変換が未完了の場合は、データ移行ツールを終了し、インポートするメールをeml形式に変換してください。

8. 移行する受信メールのディレクトリを入力し、Enterキーを押します。

受信メールが保存されているディレクトリを入力してください。

何も入力しない場合、受信メールはデータ移行ツールにインポートされません。

9. 移行する送信メールのディレクトリを入力し、Enterキーを押します。

送信メールが保存されているディレクトリを入力してください。

何も入力しない場合、送信メールはデータ移行ツールにインポートされません。

10. データ移行ツールに移行するデータを、一時保存するディレクトリを入力します。

表示されているディレクトリにデータを保存する場合は、何も入力せずにEnterキーを押します。

データ移行ツールにインポートしたメールを、メールワイズ on cybozu.comにアップロードするためのデータを作成します。
データを保存するディレクトリを入力してください。
[C:\Users*****\Desktop\migration\scripts\tmp]

注意

・データの保存先にネットワークドライブを指定した場合

保存先にネットワークドライブを指定すると、正常に空き容量を計算できないことが原因で、データ移行ツールが強制終了する場合があります。
強制終了した場合は、十分な空き容量が確保できる設定になっているかなど、指定先の環境の状態も含めて確認してください。

11. サブドメインを入力し、Enterキーを押します。

12. クライアント証明書のファイル名を絶対パスで入力し、Enterキーを押します。

表示されているファイルを使用する場合は、何も入力せずにEnterキーを押します。

cybozu.com共通管理で入手したクライアント証明書のファイル名を絶対パスで入力してください。
何も入力しない場合は、次のクライアント証明書を使用します。
[C:\Users*****\Desktop\migration\cybozu-migration-cert.p12]

13. Administratorのパスワードを入力し、Enterキーを押します。

セキュリティ保護のため、パスワードは画面に表示されません。

14. 表示された情報を確認して、データ移行を実行する場合はEnterキーを押します。

```
=====
受信メールの保存ディレクトリ：C:\tmp\received
送信メールの保存ディレクトリ：C:\tmp\sent
データの保存ディレクトリ：C:\Users\*****\Desktop\migration\scripts\tmp
移行先のドメイン：*****.cybozu.com
移行データのサイズ：4(MB)
=====
この内容で実行します。
続行するにはEnterキーを押してください。
```

15. 指定したドメインにあるクラウド版 メールワイズのデータが削除されることを承諾する場合は、「Y」を入力して、Enterキーを押します。

```
=====
【注意】
データを移行すると、移行先に指定したドメインにあるメールワイズのデータは削除されます。

•お客様のドメイン：*****.cybozu.com
=====
データを移行しますか？
[Y/N]:
```

補足

- データをアップロード中、エラーが発生する場合があります。

原因の例：

- 一時的なネットワークの異常
- データベースの破損

データ移行ツールが強制終了した場合は、よくあるご質問の[カスタマーサポートへの問い合わせ方法を教えてください。](#)という記事を確認し、サイボウズまでお問い合わせください。

16. Enterキーを押して、データ移行ツールを終了します。

処理が完了しました。
サイボウズドットコムストアから作業完了のメールを送信しています。
データ移行ツールを終了し、メールを受信してください。
Enterキーを押すと、このツールを終了します。

17. データ移行完了のメールを受信します。

データの移行が完了すると、サイボウズドットコムストアの管理者に、次の件名のメールが送信されます。

[サイボウズドットコムストア]データアップロード・コンバートが正常に終了しました (Mailwise)

18. クラウド版 メールワイズにアクセスして、データが移行されていることを確認します。

データ移行完了メールに記載されているURLにアクセスすると、データが移行されていることを確認できます。

19. データ移行後の作業をします。

これでデータ移行は完了です。

[データ移行後に必要な設定\(56ページ\)](#)に進んでください。

補足

- データ移行後、クラウド版 メールワイズの[メールの全文検索](#)に必要なインデックスの作成が開始されます。インデックスの作成が完了する前でも、クラウド版 メールワイズの利用を開始できます。

インデックスの作成が完了したら、サイボウズドットコム ストアの管理者に次の件名のメールが送信され、メールの全文検索を利用できます。

[サイボウズドットコム ストア]検索インデックスの作成が正常に終了しました
(Mailwise)

エラーへの対処

エラーメッセージが表示された場合はデータ移行ツールを終了し、エラーの内容に合わせて適切に対処してください。エラーが解消しない場合や対処が難しい場合は、次のよくあるご質問に記載の方法でサイボウズにお問い合わせください。

[カスタマーサポートへのお問い合わせ方法を教えてください。](#)

データを移行する際に発生したエラーの詳細は、ログファイル（migration_error.log）に記録されます。

ログファイルは、データ移行ツールを実行したフォルダに作成されます。

一時フォルダにデータ移行ツールを保存している場合の例：C:

\Temp\migration\migration_error.log

表示されるメッセージ	対処
クライアント証明書が存在しません。クライアント証明書のファイル名を絶対パスで入力してください。	指定されたパスにクライアント証明書が存在しなかった場合に表示されます。 データ移行ツールと同じディレクトリにクライアント証明書を配置します。 クライアント証明書の入手方法は、 データ移行を許可してクライアント証明書をダウンロードする方法 を参照してください。
クライアント証明書が正しくありません。ファイルを確認してください。	クライアント証明書と異なる形式のファイルを指定しているか、ファイルが壊れている場合に表示されます。 再度クライアント証明書をダウンロードし、新しく入

表示されるメッセージ	対処
	<p>手したクライアント証明書をデータ移行ツールと同じディレクトリに配置します。</p> <p>クライアント証明書の入手方法は、データ移行を許可してクライアント証明書をダウンロードする方法を参照してください。</p>
<p>データのアップロード確認に失敗しました。次の項目を確認してから、再度実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • サブドメイン名 • クライアント証明書 • Administratorパスワード • cybozu.com共通管理でのデータ移行の許可設定 	<p>cybozu.com共通管理で、次のページを参照し、設定を確認します。</p> <p>サブドメインを確認する</p> <p>Administratorを「使用中」にする</p> <p>データ移行を許可してクライアント証明書をダウンロードする</p>
<p>移行するユーザー数が上限値を超えています。</p>	<p>移行するユーザー数が350人より多い場合に表示されます。データ移行ツールを終了して、よくあるご質問のカスタマーサポートへのお問い合わせ方法を教えてください。という記事を確認し、サイボウズまでお問い合わせください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> • システム設定画面で、「サイボウズ(R) Officeシリーズとのユーザー情報を連携しない」に設定してください。 • ユーザー情報の連携を「ユーザー情報を連携しない」に設定してください。 	<p>サイボウズ Officeとユーザー情報を連携する設定になっている場合に表示されます。</p> <p>パッケージ版で、ユーザー情報の連携を解除します。詳細は、ユーザー情報連携を解除する(30ページ)方法を参照してください。</p>
	<p>ログインに関する設定を確認する方法を参照し、移行元のパッケージ版で、ログイン方法の設定を確認し、</p>

表示されるメッセージ	対処
システム設定画面で、ログイン方法に「ログイン名を入力する」を設定してください。	データ移行ツールを実行可能な設定に変更してください。
<ul style="list-style-type: none"> •○○さんのログイン名を設定してください。 •○○さんのログイン名が長すぎます。 •○○さんのログイン名が他のユーザーのログイン名と重複しています。 •○○さんのログイン名に使用できない文字が含まれています。 •○○さんのログイン名の前後に不要な空白が存在します。 	<p>ログイン名とパスワードが設定されていることを確認する方法を参照し、移行元のパッケージ版で、ログイン名とパスワードを確認し、データ移行ツールを実行可能な設定に変更してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> •○○さんの名前に使用できない文字が含まれています。 •○○さんの姓に使用できない文字が含まれています。 •○○さんの名に使用できない文字が含まれています。 •○○さんのメールアドレスに使用できない文字が含まれています。 •○○さんの連絡先に使用できない文字が含まれています。 	<p>移行元のパッケージ版で、ユーザー情報を確認します。</p> <p>不要な空白や改行コードは削除してください。</p> <p>ユーザー情報を変更する方法を参照し、ユーザー情報を確認してください。</p>
組織「○○」の名前に使用できない文字が含まれています。	移行元のパッケージ版で、組織の名前を変更します。 組織情報を変更する 方法を参照し、組織の名前を変更

表示されるメッセージ	対処
	してください。
移行元製品のメールサーバー「(設定しているメールサーバー名)」の POP before SMTPを無効にしてください。	<p>移行元製品に登録しているメールサーバーに、受信後に送信を行う (POP before SMTP) 設定がされている場合に表示されます。</p> <p>POP before SMTPを無効にする方法を参照し、移行元のパッケージ版で、POP before SMTPを無効にします。</p>
移行データを保存するディレクトリのディスクの空き容量が不足しています。	<p>次のどちらの操作でも発生する場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ローカルコンピュータのメールデータの移行 パッケージ版のメールワイズのデータの移行 <p>移行元のマシンで、該当のディスク容量を確認し、必要に応じて、不要なデータを削除します。</p>
データディレクトリのディスクの空き容量が不足しています。	<p>次の操作で発生する場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> パッケージ版 メールワイズのデータの移行 <p>パッケージ版のサーバーで、該当のディスク容量を確認し、必要に応じて、不要なデータを削除します。</p>

1.6. データ移行後に必要な設定

データ移行後に必要な設定について説明します。

cybozu.com共通管理での設定

cybozu.com共通管理では、次の設定が必要です。

- データ移行の許可の解除
- システム管理者の設定
- Administratorの使用停止
- パスワードポリシーの設定
- ユーザーのログインパスワードの設定


データ移行の許可の解除からパスワードポリシーの設定まで

操作手順：

1. Webブラウザを起動し、「https:// (サブドメイン名) .cybozu.com/」にアクセスします。
2. 次のユーザーでクラウドサービスにログインします。
 - ログイン名：
準備したクラウド版の申し込みユーザーのログイン名です。
初回登録のメールアドレスからログイン名を変更している場合は、変更後のログイン名でログインしてください。
 - パスワード：
準備したクラウド版の申し込みユーザーのパスワードです。
3. ログイン後、表示された画面で、**cybozu.com共通管理** をクリックします。
4. 左ペインで、**パッケージ版からの移行** をクリックします。
5. 「パッケージ版からの移行」画面で、「パッケージ版メールワイズからのデータ移行を許可する」のチェックボックスの選択を外し、**保存** をクリックします。
6. 左ペインで、**管理者の設定** をクリックします。
7. クラウド版 メールワイズのシステム管理者を設定します。

cybozu.com共通管理者に所属するユーザーが、自動的にクラウド版 メールワイズのシステム管理者に設定されます。

詳細は、cybozu.comヘルプの[cybozu.com共通管理者の設定](#)を参照してください。

8. 左ペインで、**組織/ユーザー** をクリックします。
9. Administratorの をクリックします。
10. 使用状態の[使用中]をクリックします。
[停止中]に変わったことを確認します。
11. 保存 をクリックします。
12. 左ペインで、**ログイン** をクリックします。
13. 必要に応じて、パスワードポリシーの設定を変更します。
パスワードの最小文字数や有効期間など、パスワードポリシーの設定を変更します。
詳細は、cybozu.comヘルプの[パスワードの複雑さや有効期間を設定する方法](#)を参照してください。

ユーザーのログインパスワードの設定

初回ログイン時、パスワードの再設定を求められた場合は、パスワードポリシーにあわせてパスワードを再設定してください。

ユーザーがログインできなくなってしまった場合は、cybozu.comヘルプの[対処方法：ユーザーの場合](#)を参照し、解決できるかどうか試してください。

注意

- バージョン4以前のパッケージ版 メールワイズからクラウド版に移行した場合、次の項目を確認してください。
 - URLで指定していたプロフィール画像：
移行前の設定は無効になります。

- URLで指定していた会社ロゴ：
移行後の会社ロゴにはURLだけが表示されます。会社ロゴを表示するには、ロゴファイルをアップロードする必要があります。
- パスワードに関する制限：
移行前の設定は無効になります。

クラウド版 メールワイズでの作業

クラウド版 メールワイズのシステム設定を確認します。

操作手順：

1. Webブラウザを起動し、[https:// \(サブドメイン名\) .cybozu.com/m/](https://(サブドメイン名).cybozu.com/m/)にアクセスします。
2. システム設定画面にアクセスできることを確認します。
[システム設定画面にアクセスする](#)方法を参照してください。
3. メールの送受信設定をしている場合は、メールを送受信できることを確認します。
データ移行前の設定内容で、メールを送受信できるか確認してください。
4. メールワイズに登録しているすべてのメールアカウントの「受信メールサーバーにメールを残す」設定を変更します。
メールを残す期間を設定するか、メールを残さない設定にしてください。
設定を変更する手順は、[メールアカウントを変更する](#)方法を参照してください。
運用についての詳細は、よくあるご質問の[メールサーバーにメールを残す設定で運用してもよいですか？](#)という記事を参照してください。
5. メール通知の設定を確認します。

メール通知を有効にしている場合は、メール通知の設定で指定している「メールワイズのURL」を、クラウド版 メールワイズのURLに変更します。

「メールワイズのURL」欄には、必ず「mw.cgi?」まで入力してください。

URL例：

https:// (サブドメイン名) .cybozu.com/m/mw.cgi?

設定方法は、[メール通知の設定](#)を参照してください。

システム設定 > メール通知の設定

メール通知の設定をしてください。
(* は必須項目です。必ず設定してください。)

通知メール機能を停止する

メールワイズのURL *

サイボウズ製品間の連携通知をおこなわない

mw.cgi?まで記載が必要です。

1.7. 組織情報の統合について

パッケージ版 メールワイズからクラウド版 メールワイズへデータを移行すると、パッケージ版の組織（旧名称 グループ）情報は、クラウド版の「cybozu.com共通管理」に移行されます。パッケージ版とクラウド版とでは、ユーザーおよび組織の管理方法や表示方法が異なります。

ここでは、パッケージ版の組織情報がcybozu.com共通管理に移行されることに伴う変更点や注意事項について説明します。

組織を管理する機能の違い

データ移行に伴う組織情報の統合で生じる、パッケージ版 メールワイズとの変更点について説明します。

「グループ」から「組織」に名称変更

バージョン 5.0.1以前のパッケージ版 メールワイズからクラウド版へデータを移行した場合、パッケージ版で「グループ」と表示されていた箇所は、クラウド版で「組織」と表示されます。たとえば、「所属するグループ」は「所属する組織」と表示されます。

「ユーザー管理」のメニュー変更

パッケージ版とクラウド版とでは、メールワイズのシステム設定にある「ユーザー管理」のメニューが異なります。

クラウド版 メールワイズでユーザーや組織を設定する場合は、cybozu.com共通管理から設定してください。

・パッケージ版 メールワイズ

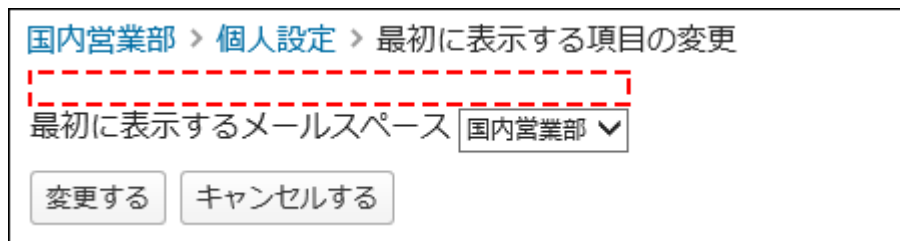


・クラウド版 メールワイズ



「最初に表示する組織」の廃止

クラウド版 メールワイズには「最初に表示する組織」の機能が未搭載です。このため、パッケージ版 メールワイズの「最初に表示する組織」の設定は、クラウド版 メールワイズに移行されません。クラウド版 メールワイズでは、「最初に表示する組織」の代わりに、cybozu.com共通管理の「優先する組織」の機能を利用してください。



cybozu.com共通管理に設定済みの「優先する組織」は、データ移行の影響を受けません。必要に応じて、データ移行後に「優先する組織」を再設定してください。設定手順の詳細は、[ユーザー情報を変更する](#)方法を参照してください。

組織選択のドロップダウンリストの表示

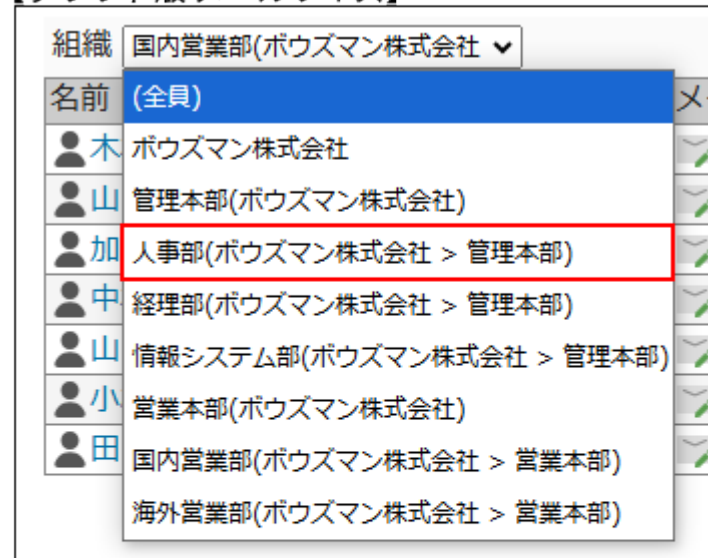
クラウド版 メールワイズでは、組織を選択するドロップダウンリストにcybozu.com共通管理に設定されているすべての組織が表示されます。組織の階層構造が分かるように、親組織の名称があわせて表示されます。

cybozu.com共通管理に設定されている組織の数が多い場合は、管理が煩雑になる恐れがあります。メールワイズで使用する組織をユーザーに周知するか、組織を整理することを検討してください。


【cybozu.com共通管理】



【クラウド版 メールワイズ】



メールワイズを利用していないユーザーの扱い

クラウド版 メールワイズには、メールワイズの利用を許可されたユーザーが表示されます。ユーザーがメールワイズの利用を許可されているかどうかは、ユーザー名簿で確認できます。メールワイズの利用を許可されていないユーザーは  で表示されます。

名前	ログイン時間	メールアドレス
 木村 修	ログイン(13:26)	 osamu-kimura@example.co
 山田 大介		 daisuke-yamada@example
 加藤 大輔	ログイン(9:53)	 daisuke-kato@example.cor
 中村 健太		 kenta-nakamura@example
 山田 陽子	ログイン(9:00)	 yoko.yamada@example.co

「メールワイズの組織」および「サイボウズ Officeの組織」について

次の名前の組織は、データ移行のために自動生成された組織です。ユーザーは所属していません。

- メールワイズの組織
- サイボуз Officeの組織

これらの組織は、データ移行で追加された組織の確認だけに使用します。アクセス権の設定や、組織に含まれる子組織の一括選択などには使用しないでください。

補足

- パッケージ版のメールワイズとサイボуз Officeの両方を移行する場合、データ移行を実施した順にパッケージ版の組織情報がcybozu.com共通管理に移行されます。

組織情報の統合のしくみ

パッケージ版 メールワイズの組織情報が、どのようにcybozu.com共通管理に移行されるかを説明します。

統合される組織の情報

パッケージ版 メールワイズの組織情報は、cybozu.com共通管理に次のように移行されます。

- クラウド版の組織名は、パッケージ版の組織名で更新されます。
- クラウド版の組織のメンバーは、パッケージ版の組織のメンバーで更新されます。
- クラウド版の組織コードは、パッケージ版の組織情報と統合する際に、パッケージ版の組織IDをもとに、システムによって自動的に設定されます。

システムによって自動的に設定された組織コードは変更しないでください。組織コードを変更すると、データ移行ツールの実行時に、パッケージ版から移行した組織が重複して追加される恐れがあります。

移行元と移行先で同じ名前の組織があっても、システム内で保持する識別コードによって、別の組織として判別されます。このため、パッケージ版の組織は、新しい組織としてcybozu.com共通管理に移行されます。

補足

- cybozu.com共通管理の組織名に設定できる文字数は、組織名に付加される「(MW)」を含め、128文字までです。128文字を超えると、組織名が途中までしか表示されません。移行元で組織名を124文字以内にしておくか、移行後に組織名を編集し、文字数を減らしてください。

cybozu.com共通管理に組織を設定していない場合

データの移行時に、cybozu.com共通管理に組織が何も設定されていない場合、メールワイズの組織情報は、そのままcybozu.com共通管理に移行されます。

パッケージ版で設定していた組織のアクセス権の設定も移行されます。データ移行後に必要な設定はありません。

cybozu.com共通管理に組織を設定している場合

データの移行時に、cybozu.com共通管理に1つでも組織が設定されている場合、メールワイズの組織情報は、「メールワイズの組織」としてcybozu.com共通管理に移行されます。cybozu.com共通管理に設定されていた組織と区別するために、メールワイズの各組織名の後ろに「(MW)」が付加されます。

パッケージ版で設定していた組織のアクセス権の設定も移行されます。必要に応じて、組織を整理します。

組織 組織の追加

ボウズマン株式会社	⚙️
管理本部	⚙️
人事部	⚙️
経理部	⚙️
情報システム部	⚙️
営業本部	⚙️
メールワイズの組織	⚙️
人事部(MW)	⚙️
国内営業部(MW)	⚙️
組織に未所属のユーザー	
すべてのユーザー	

データ移行前にcybozu.com共通管理に設定されていた組織です。

パッケージ版 メールワイズから移行された組織です。

cybozu.com共通管理に移行された組織を整理する

パッケージ版 メールワイズから移行された、組織名に「(MW)」が付く組織を、cybozu.com共通管理に設定済みの組織に統合する場合の注意事項と手順を説明します。

注意事項

- メールワイズの組織がcybozu.com共通管理に移行されても、メールワイズのアクセス権の設定は変更されません。
- 削除した組織は、元に戻せません。
- 組織を削除すると、組織に対するアクセス権の設定や、組織と連動するデータなど、組織に関するすべての設定が削除されます。組織の整理が完了し、問題なく運用できることを確認してから、統合元の組織を削除してください。
- 組織を整理する操作では、ユーザー情報を操作しません。誤ってユーザーを削除しないように注意してください。

- 組織名や組織のメンバー、組織の階層の変更が影響する箇所は、次のとおりです。
 - 組織と連動するデータの名前
 - ユーザーや組織選択時に表示される項目名（階層表示）

操作手順

「メールワイズの組織」配下の組織「役員（MW）」を、組織「役員」に統合する場合を例に説明します。

1. メールワイズで、「役員（MW）」のアクセス権の設定を確認します。

あとの手順で、確認した内容を利用します。確認が必要な項目は、次のページを参照してください。

- [利用ユーザーの設定](#)
- [メールアプリケーションのアクセス権](#)
- [電話履歴のアクセス権](#)
- [訪問履歴のアクセス権](#)
- [アドレス帳のアクセス権](#)
- [テンプレートのアクセス権](#)
- [一斉配信のアクセス権](#)
- [集計レポートのアクセス権](#)

2. cybozu.com共通管理で、「役員（MW）」と「役員」のメンバーを比較します。

メンバーに差異がある場合は、手順3に進みます。
メンバーに差異がない場合は、手順4に進みます。

3. cybozu.com共通管理で、「役員」のメンバーを変更します。

「役員（MW）」とメンバーが同じになるように、次のいずれかの方法で変更します。
誤ってユーザーを削除しないように注意してください。

- 組織のメンバーを個別に変更する：
詳細は、次のcybozu.comヘルプを参照してください。
[組織のメンバーを変更する](#)
- CSVファイルを使って、ユーザーが所属する組織を一括更新する：
詳細は、次のcybozu.comヘルプを参照してください。
[ファイルの書き出しと読み込み](#)

4. メールワイズで、手順1で確認したアクセス権を「役員」に対して設定します。

5. cybozu.com共通管理で、「役員（MW）」を削除します。

誤ってユーザーを削除しないように注意してください。

© Cybozu